

第2回 Seeding Hope 専門家対象ワークショップ Basic-Ph 1Day ワークショップのご案内

世界中で注目されているストレスコーピングモデル『**Basic-Ph モデル**』ワークショップをご案内いたします。

BASIC-Ph は、コーピング(対処)とレジリエンシー(回復力)についてのモデルで、**ムーリ・ラハド教授(PhD)**によって開発されました。このモデルでは、まずコーピング(対処)を生活上の難しい問題をやりくりするための現在進行形の努力として説明しています。この世界的に高い評価を得ているアプローチは、効果的なレジリエンシーアセスメントモデルとして、支援モデルとして、またリカバリーモデルとして広く用いられています。



- ・ どんな人でも内的なパワーや、コーピング(対処)のための資源を持っていて、ストレスフルな状況の中でそれらを結集することができる
- ・ そしてそれは病理的な本能というより健康的に生き延びるための努力である

これらの考えが、このモデルの柱になっています。BASIC Ph という名も、これらのコーピング資源の分類名の頭文字をとって名づけました: Belief(信念), Affect(感情), Social(社会なもの・人とのつながり), Imagination(想像力), Cognition(認知), Physical(身体的なもの)。

この入門ワークショップでは、BASIC Ph アプローチの背景理論について概観し、実践と調査研究に基づく介入について提示し、自然にせよ人為的なものにせよ災害が生じた時にそれらをどのように適用するのか説明します。入門ワークショップでは、BASIC Ph モデルが個人に、家族に、コミュニティに、また教育システムにどのように応用が可能かもお伝えできるでしょう。

【ワークショップ詳細】

日 時: 2013年9月3日(火) 10:00~16:30

場 所: 首都大学東京 南大沢キャンパス 91年館ホール

http://www.tmu.ac.jp/university/campus_guide/map.html#map_minamiosawa

定 員: 30名

参加費: 会員の方 2500円, 非会員の方 3500円, 会員入会希望の方 2500円+5000円(年会費)

講 師: Mooli Lahad Ph.D., Dalia Sivan S.W.

通 訳: 菊池安希子

主 催: イスラエルトラウマ連盟

共 催: Seeding Hope

申 込: <http://goo.gl/O1KHBn>



ムーリ・ラハド博士

心的トラウマの予防と支援の領域で世界的な名声をもつ専門家で、32冊以上の書籍と膨大な記事やガイドラインの著者でもあります。心理学とコミュニティの分野でいくつか賞を受賞しています。ラハド教授はシニア医療・教育心理学者で、以前は英国のローハンプトン大学で、現在はイスラエルの上ガリラヤ地方にある Tel Hai 大学でドラマセラピーと心理学を教えています。

彼は 33 年前に設立した NGO であるコミュニティ・ストレス予防センター (Community Stress Prevention Center (CSPC)) の創設者でもあります。CSPC には 22 人の専門家スタッフがおり、これまで累計 35 万時間以上を専門家のトレーニングに、19.8 万時間以上を苦しんでいる人々の支援に注いできました。

さらに、Civilian Resiliency 首相委員会メンバーかつイスラエルユニセフ委員会の元メンバーであり、ユニセフやその他の国際機関のコンサルタントを務めています。

ラハド博士はこれまでに 1999 年のトルコ大地震、2001 年のアメリカ同時多発テロ事件、2004 年のスリランカ津波災害や 2011 年の東日本大震災など、世界中で起きた災害や事件現場にいち早く赴き、それらに伴うトラウマの予防と治療のための人道的支援に貢献してきました。今回の来日は、東日本大震災後 3 回目となります。

さらに詳しい情報は CSPC のサイトをご覧ください。

www.icspc.org